

宮城県石巻市 & 東京都東大和市【軟式野球】

- 1 実施日時 平成28年8月6日(土)～8日(月)
- 2 主管 東大和市体育協会
- 3 後援 東大和市
- 4 協力 東大和市少年軟式野球連盟
- 5 会場 中小企業大学校 東京校
創価学園 東大和グラウンドほか

8月6日(土)			8月7日(日)			8月8日(月)		
7:00	出発	石巻市立中里小学校	7:00	起床	各ホームステイ先	7:00	起床	各ホームステイ先
	休憩	国見SA (福島県国見町)	7:30	朝食	各ホームステイ先	7:30	朝食	各ホームステイ先
			8:30	練習開始	創価学園 東大和グラウンド			
			9:00	写真撮影 開会式・始球式		9:00	送別会	商工会館
	休憩	那須高原SA (栃木県那須町)	9:30	交流試合		10:30	石巻市へ出発	石巻市立中里小学校
	休憩	蓮田SA (埼玉県蓮田市)	12:00	昼食				
14:00	役員・スタッフ集合	中小企業大学校						
15:30	石巻市チーム到着	中小企業大学校						
16:00	歓迎交流会	中小企業大学校	16:30	地域交流プログラム ボンリング	BIGBIX東大和			
19:00	ホームステイ先へ			夕食		17:00	石巻市に到着	
			19:30	ホームステイ先へ				

1 日目 (2016/8/6)

出迎え (東大和市 中小企業大学校東京校)



▲ 8 時間のバス移動で東大和市に到着



▲ 歓迎を受ける石巻市の選手たち

歓迎会



▲ 主催者代表挨拶 東京都 川瀬部長



▲ 主催者 (都体協 並木理事長) から贈呈式



▲ 来賓挨拶 東大和市 尾崎市長



▲ 招待チーム選手代表挨拶 内海キャプテン

1日目 (2016/8/6)



▲全員で記念撮影



▲ホストファミリーとの対面



▲今日から家族の一員

歓迎食事会



▲すぐに仲良しに



▲ぼくもわたしも大歓迎!

2日目 (2016/8/7)

開会式・交流試合 (東大和市・創価学園東大和グラウンド)



▲主催者挨拶 東京都 井内課長



▲実行委員長挨拶 谷村都議



▲谷村実行委員長から記念品贈呈



▲東大和市 尾崎市長による始球式



▲関係者との記念ショット

2日目 (2016/8/7)



▲整列



▲真剣勝負



▲アウトか、セーフか



▲やったぜ、ホームラン！

地域交流プログラム・ボウリング大会 (東大和市・グランドボール BIG BOX)



▲みんな仲良し！



▲小山監督による始球式。見事、ストライク！

1～3日目 (2016/8/6～8)

ホームステイ先での様子



▲タイガーシャーク 柚木家



▲ファイヤーコンドルス 新井家



▲ブラックキャッツ 近藤家



▲ブラックキャッツ 鈴木家



▲芋窪アトラス 神尾家



▲十小上北台ストロングス 稲毛家

3日目 (2016/8/8)

送別会 (東大和市商工会館)



▲招待チーム監督からのお礼の挨拶



▲少年軟式野球連盟 川又会長からのお土産



▲全員でお見送り



▲石巻に向けて出発



▲また、お会いしましょう！

● 宮城県石巻市「中里ブルーシャークス」ご招待の経緯

実行委員会

5度目となる今年は交流事業の一つの節目と捉え、「再会と未来への前進」と考えました。そこで、一昨年の招待チームである中里ブルーシャークスを再びご招待いたしました。

前回1年生で参加してくれた成澤龍哉くん他5人の選手が2度目の参加です。また、前回5、6年生だった子たちも全員が中学でも野球を続けており、ビデオメッセージをもらいました。成長した姿で石巻市の復興の状況を語ってくれました。

再会をとおして、子どもたちの成長した姿に時間の経過を感じるとともに、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて共に前進していくことを約束しました。

●5年間の交流事業を通して

実行委員会

この事業を通して東大和市から東北を訪れている方もいます。ホストファミリーとのお付き合いもそれぞれに続いているとお話も伺います。たった2泊3日の短い時間の交流ですが、将来にわたる友情の種を植えられているのかなと感じています。

3・11から5年半。あまりにも甚大な被害からの復興はまだまだ道半ばです。今年は熊本でも大きな震災があり、その他豪雨による被害も甚大で、日本全国いっどこで何が起こるか、他人事ではありません。東日本大震災では本当に多くの方が亡くなり、沢山の悲しみや困難に立ち向かってきた東北から私たちが学ぶことは沢山あるはずです。これからも子どもたちの成長と東北の復興に心を寄せてまいります。

●感想文

ホームステイ先：タイガーシャーク 柚木宅

東京遠征の思い出

石巻市 6年 内海 琉夢

ぼくは、東京に行って一番心に残っていることは二つあります。

一つ目は、野球の試合です。一試合目は東京のチーム対中里で試合をしました。一試合目は、中里が勝ってうれしかったです。二試合目は、ぼくはホームランを打って嬉しかったけれど、負けてくやしかったです。

二つ目は、ボウリングです。ボウリングではスペアやストライクを取れなかったけれど、点数はよかったです。

2泊3日お世話になりました。ありがとうございました。6年生最後の夏休み良い思い出になりました。



東京交流会について

石巻市 4年 島 龍之介



ぼくは、初めて東京に行って思い出にのこっているのは、試合です。試合は、普段通りに楽しく東京のチームと試合ができたからです。一試合目は、いつものチームでやって、二試合目は、東京と中里のチームをシャッフルしてやりました。また東京で試合をしたいです。

次は、タイガーシャークでの練習です。練習では、紅白せんをしました。紅白せんではピッチャーをやらせてもらいました。あんまりうまくできななかったけれど、できてうれしかったです。東京にまた行きたいです。

すごく楽しかった3日間

東大和市 6年 柚木 拓真



僕の家には6年生と4年生の子がきました。初日は中里ブルーシャークスのみんなを迎えに行きました

僕は東大和を代表してあいさつをしました。何度も練習したけど、その日は頭が真っ白になりました。2日目は試合をやりました。僕はピッチャーだったので泊まった子と勝負しました。二人で目を合わせ笑っちゃいました、負けたけどすごく楽しい勝負でした。

2試合目は相手チームにいきました。泊まった琉夢君がホームランを打ちました。とてもかっこよかったです。2試合目も負けたけど楽しかったです

その後ボーリングに行き、すごくもりあがり楽しかったです。

3日目は僕は事情があり行けなかったけど、ノートにメッセージを書きました。

次に会うときは、甲子園で会いたいです。

すごく楽しい3日間ありがとうございました。

初めてのホームステイ

東大和市 保護者 柚木 真一



今回初めてホストファミリーとして6年生、4年生の子を受け入れさせていただきました。子供たちはうまくやれるのだろうかと不安もありましたが、そんな不安も対面式後にすぐに解消され、子供たちのコミュニケーション力に驚かされました。

一度仲良くなってからはもう安心して2日目の朝は前日の長旅の疲れも感じさせず、朝早くから遊んでおり元気とパワーにまた驚かされました。

交流試合での直接対決やボウリングでの子供たちの楽しそうな笑顔がとても印象的でした。

3日間、あっという間でしたが子供たちにとっても、親にとってもいい経験と夏休みの大切な思い出となりました。

我が家に来てくれた二人ありがとう！

ガンバレ 琉夢！！

ガンバレ 龍之介！！

ホームステイ先：ブラックキャッツ

近藤宅（1泊目）・鈴木宅（2泊目）

東京遠征に行って

石巻市 6年 高橋 涼



8月6日から8月8日まで東大和市に遠征に行ってきました。僕は二度目の参加でした。バスで8時間かけて行きました。でもバスの中では、おもしろくて早く着いたように感じました。



バスをおりたら皆さんが歓迎してくれました。時間がたつと、歓迎会をする場所に行くと言われたので皆で行きました。そしたら、拍手で出迎えてくれました。

ぼくは、近藤大生君と鈴木幸太郎君の家に泊まりました。二人とも、とってもおもしろかったです。そして試合では、ヒットを打ってよかったです。他にもボウリングをしたり、銭湯に行ったりしてとても楽しかったです。

お別れの時は、とてもさびしかったけれど、6年生最後の夏休みに良い思い出が出来ました。

東京で出来た思い出

石巻市 4年 鈴木 佑弥



8月6日から2泊3日で東京の人の家に泊まらせてもらいました。

バスの中ではきんきょうしていましたが、やさしくでむかえてくれたので安心して東京ですごせました。

一日目は近藤さん家に泊まりました。その日の夜には120本入りの花火をして、いろいろな色が出てすごく楽しかったです。

二日目は二試合試合をして二試合とも勝ち、うれしかったです。

その日は鈴木さん家に泊まり、銭湯にいきました。すごく楽しかったです。

みんなでいっしょに楽しく話のできたのでとてもうれしかったです。

こんどは石巻で合流してみたいです。東京の皆さん3日間ありがとうございました。

楽しかった被災地スポーツ交流

東大和市 5年 近藤 大生



被災地スポーツ交流がありました。ホームステイは最初に僕の家に来ることになっていました。僕の家に来ることになったのは、中里ブルーシャークスの高橋涼君と、鈴木佑弥君です。

初めて会って軽食を食べている時に友達になれるか、ちゃんと話せるか心配だったけれど、そんなことを忘れて普通に友達になれました。それから僕の家に来ました。花火や色々な事をして布団に入りましたが全然眠れなくて、でもみんなも眠れなくて楽しかったです。

次の日の試合では僕は全然活躍できませんでした。悔しかったです。その後はボウリングをしました。すごく楽しかったです。そして、別れの日が来ました。もっと遊びたかったけれど明るく見送りをしま

した。

この3日間は僕にとってすごく楽しく思い出に残りました。

被災地スポーツ交流を終えて

東大和市 保護者 近藤 一美



我が家へは6年生の高橋涼さんと、4年生の鈴木佑弥くんがホームステイに来てくれました。

1泊だけなのでどうなるかと少し心配していましたが、子供のパワーってすごいです！すぐに仲良くなり、夜中までにぎやかな話し声が聞こえていたかと思えば、早朝とは言えないような時間からまた話し声が聞こえてきて・・・ほとんど寝ずに話し笑い合っていたようです。寝不足を心配しながらも微笑ましい気持ちでいっぱいになりました。

4年生の佑弥くんは明るくてみんなを繋いでくれるようなムードメーカー、4年生の涼くんは、落ち着いていて優しい頼れる存在です。たった一晩ではありましたが、素直でまっすぐな二人が大好きになり、家族が二人増えたような気持ちで過ごしました。

お別れはとても寂しいものでしたが、息子にとっては大好きな野球を通し、このような機会がなければ出会えなかった石巻の友達や他チームの友達が出来た事、また多くの貴重な経験が出来た事は、忘れることの出来ない思い出となったはずです。

この出会いが思い出に終わらず、未来につながることを心から願っております。

スポーツ交流事業に参加した感想

東大和市 4年 鈴木幸太郎



ぼくは、スポーツ交流事業に参加してみてよかったと思いました。

最初は、どんな子たちがくるのかなあと、緊張していたけれど、仲良くなれてよかったです。

一番心に残ったことは、交流試合です。ぼくはヒットが打てなかったけれど、ふだん一緒のチームとしてプレーしていない子たちと同じチームになり、試合ができたり、ぼくの家にとまった子と、ピッチャーとバッターとして勝負できたりして、楽しかったです。

ボウリングでは、スピアを取ったときに、みんなで喜んだのが楽しかったです。

野球の練習も一緒にできました。バッティング練習、ノックを受けたり、キャッチボールをしたり、いろんなことをしました。

朝起きて、朝練習もしました。キャッチボールやバッティングが楽しかったです。

また甲子園とか、どこかで会えたらいいなと思いました。

スポーツ交流事業に参加した感想

東大和市 保護者 鈴木 誠一



ホストファミリー募集のお知らせをいただき、初めての経験でどんなスケジュールになるのか、子供たちに無事にゆっくり休んでもらえるかなど、不安もありましたが、でき得るかぎりのご協力をさせていただこうと思い参加しました。

その理由は、復興に立ち上がる石巻の子どもたちとの交流が、夏休みの思い出としてだけでなく、わ

が子の人生にとって、きっと宝の思い出なるのではないかと直感したからです。

交流初日、遠路はるばるバスの長旅を終え、東大和に到着された石巻ブルーシャークの皆さんをお迎えし、歓迎会で一緒に食事をしました。

はじめのうちは緊張していた子どもたちでしたが、お腹を満たした頃、いつの間にか、お互いに追いかけてこが始まり、石巻と東大和の子どもたちが一体になりました。そんな子どもたちに釣られる様に、我々大人も会話が弾み、ブルーシャークの監督さんから、石巻は「ホヤ」と「カツオのタタキ」が美味しいとお話をお聞きすることもでき、気さくな監督さんのお人柄と石巻の特産品に心が引き付けられる思いでした。2日目は、今夏、西東京大会ベスト4の憧れの創価高校の素晴らしいグラウンドをお借りしての交流試合。小学生のためにベースやマウンドも整備されたグラウンドで、わが子は、自宅に宿泊する石巻の高橋君、鈴木君との対戦に胸躍らせておりました。

試合後は、息子が所属するチームで、石巻の子と共に練習。その後は、ボウリング大会。その頃には、石巻と東大和の子どもたちは、すっかり親友に。肩を抱き合って喜びあう子どもたち。そして、「ななかまど」での夕食をとともにして帰宅。

くたくたに疲れ切った子どもたち。早く休ませてあげたいとの思いから、狭いお風呂に順番に入るより、みんなで近くの銭湯へ行こう！と提案。子どもたちの疲れは吹っ飛んでしまったようで、お風呂でも大盛り上がり！

帰宅後は、お風呂上がりのジュースで乾杯し、2日間の思い出にひたりながら、就寝しました。

この夏、たったの2日間でしたが、わが子の心に、石巻のお友達との大切な思い出が胸に刻まれたことと思います。

遠くから、東大和へお越しいただいた石巻の皆さん、素敵な思い出を本当にありがとうございました。ずっとずっと応援しています。またいつでも遊びに来て下さい。そしていつか、必ず、家族で石巻へ行きたいと思います！

ホームステイ先：ファイヤーコンドルス 新井宅

東京遠征の思い出

石巻市 6年 堺 蒼太郎

ぼくは今年の夏休みの8月6日から8日まで東京に遠征に行きました。

遠征の中で、一番思い出として残っているのは、ホームステイです。

ぼくは、新井さんという、東京のチームのコーチをしている人の家にとめてもらいました。そこでは、いろいろな人たちにお世話になりました。とめてくれた新井さん、ご飯の用意をしてくれたお母さんたち、銭湯に連れて行ってくれた佐伯さん、いっしょに遊んだ優斗くん、晃輝くん、凌空くん。いっしょに過ごした時間はとれも楽しかったです。

本当にありがとうございました。



ぼく東京に行ったよ

石巻市 4年 阿部 翔



ぼくが、東京に行きたいと思ったわけは、東京の人と練習試合をしたかったからです。東京に行く前は、試合でフライやゴロがきちんととれるか心配だったけれど、楽しみでした。

大がたバスで8時間かかって東京に到着。夜ごはんはごうかでした。二日間とめてくれる新井さん家に荷物を置いて、せん湯に行きました。初めてのせん湯は気持ち良かったです。

石巻対東京の試合には、8番レフトで出て、守びはきんちょうしたけれど、球がこなかったから安心しました。石巻と東京の合同チームの試合は負けたけれど楽しかったです。夜は東京の人といっしょにボウリングができて良かったです。

次に東京に行く時まで、野球のうでをみがいてもっと球をとれるようになりたいです。

ホームステイ

東大和市 6年 佐伯 優斗



ぼくは、ホストファミリーを初めてやらせていただきました。初めは、会ったみなさんもぼくもすごくきんちょうしていた様子でした。朝、みんなで練習したり、夜、みんなで楽しくごはんを食べたり、正じき、こんな毎日が続いたらとてもうれしいと思いました。

交流試合では、来てくれたみなさんととても楽しく試合ができて、光栄でした。暑い中、ばてそうでも、みんなが楽しんでいて笑っていると、つつい頑張っていました。

その後、今年は野球観戦ではなくボウリングをしました。ぼくは、最初は点が低く、みんなから「よっしゃ!!」とか「いえ〜い」とかを言われてしまいました。でも、結果は、どんどん上がっていき、子どもの中で4位でした。

そして僕は、学んだことがあります。それは、練習や試合でつかれるかもしれない、けれど、こうして楽しいことがある。ぼくは、こうやって少しずつ経験して、うまくなりたいです!! だから来てくれたみなさんも、こんなぼくといっしょだったけれど、経験して、うまくなってほしいです。

楽しかったホストファミリー

東大和市 6年 鳥海 晃輝



8月6日から8月8日まで中里ブルーシャークスの人と2泊3日、新井コーチの家でとまりました。最初は会ったばかりで話さなかったけれど、ちょっとずつきんちょうがとれて、いっぱい話すようになりました。そして、その日の夜、みんなで銭湯に行きました。ふろの中では、みんなで野球の話をしました。ふろを出たら、みんなでコーヒー牛乳やアイスを食べました。とてもおいしかったです。そしてみんなで家に帰って歯みがきをしてねる準備をしました。みんなでしゃべっていたら、新井コーチに「早くねろ」とおこられました。なので、みんなねたふりをして新井コーチがいないときにしゃべったり遊んだりしました。

そして10時ぐらいいねて、次の日、朝6時ごろ、みんなで朝のキャッチボールをしました。そのあとごはんを食べて、ユニホームにきがえて創価グラウンドに行きました。そして交流試合の開会式を行いました。そして試合をやって、1しあい目は、中里ブルーシャークスに負けてしまいました。2しあい目は、石巻チームに入ってしあいをやりました。試合をやったら負けてしまいました。そして、午後、

ホストファミリーの人たちみんなでボウリングをしました。みんながうますぎて、おいつけませんでした。その日の夜、また銭湯に行きました。ろてんぶろやデンキぶろでつかれをいやしました。そして家に帰ってねるじゅんぴをしました。

みんなでねて、次の日、朝、キャッチボールをやりました。ぼくたちは、あさの8時におわかれかいをしました。

とても楽しい3日間でした。またこんどみんなであいたいです。

ホストファミリーを経験して

東大和市 コーチ 新井 孝



8月6日～8日に中里ブルーシャークスの6年生、堺蒼太朗君と、4年生の阿部翔君、ファイヤーコンドルスの6年生、佐伯優斗君、鳥海晃輝君、馬上凌空君の5人の子どもたちを受け入れました。

中里ブルーシャークスの子どもたちは2回目の経験ということもあり、初日の歓迎交流会から東大和市の各チームの子どもたちともすぐに仲良くなり、楽しい2泊3日になるようにしなければならぬあと、私は少しプレッシャーがありましたが、交流会が終わり我が家に来た子どもたちを見ていると、5人で勝手に遊んでいて、私の不安な気持ちもすぐなくなりました。

石巻の子ども、東大和の子どものみんなが笑顔で最終日まで無事に過ごすことができ、今回、ホストファミリーとしてこの事業に参加することで、少年野球の指導者として、環境は違っても子供たちがこれから先も、野球を通じて成長していく姿を見守っていきたいと思います。

蒼太朗!! 翔!! 次回、君たちに会えるのを楽しみに、私も少年野球にかかわっていきたいと思います。

ホームステイ先：十小上北台ストロングス 稲毛宅

東京での思い出

石巻市 5年 片倉 尚斗



ぼくは東京で沢山の経験をしました。その中でも一番心に残っているのは交流試合です。理由は、東京のチームとの試合でピッチャーをし、ホームランを打ったからです。ホームランを打ってホームに帰ってきたときは、とても気持ち良かったです。それに、中里・東京こん合でした試合も楽しかったです。



その後、十小でしたティーボールゲームも楽しかったです。そして十小の五年生の人たちも一緒にボウリングをして、十小の五年の人たちとスコアをきそって負けました。ですがとっても楽しかったです。

ホームステイ先の家には十小の五年みんながとまりにきてくれて7人で寝ました。

今年の夏の一番の出来事で最高の3日間でした。行けるなら、また来年もぜひ東京の東大和に行きたいです。

東京都の交流試合

石巻市 5年 大森 尊仁



ぼくは東京に行って一番楽しかったことは3つあります。

一つ目は試合です。一試合目は東京のチームに勝利しました。二試合目は中里のチームと東京のチームの選手が半分ずつ入れ替わり試合をしました。二試合目も僕たちのチームが勝利しました。うれしかったです。

二つ目はボウリングです。ボウリングではスペアを取ったりしました。点数は139点でした。うれしかったです。

三つ目は花火です。花火はおうちの人が用意してくれました。花火の中で印象に残っている花火はふき出し花火です。ふき出し花火では4つあってその中の一つは1メートルはなれたところからやりました。楽しかったです。

3日間楽しい思い出ができました。ありがとうございました。

忘れられない思い出

東大和市 5年 稲毛 淳人



初日は中小企業大学校で中里ブルーシャークスのみんなと交流会をやりました。そこではブルーシャークスのみんなと話をしたり一緒に交流をしました。

2日目は創価高校のグラウンドで交流試合をしました。ぼくは6番センターで先発し1試合目も2試合目も負けました。2試合目はブルーシャークスの人とチームになって試合もしました。2日目はボウリングもしました。ブルーシャークスの人と得点をきそったりしてとても楽しかったです。夜には5年生全員がいっしょにとまり、スイカをたべたり花火をしたりしてとても楽しかったです。ねるときに、1時ぐらいまでおきていてなかなかねれなかったです。

3日目の送別会では、ないととたかひととお別れするのが悲しかったです。いつか会えたら3人でキャッチボールをしたいです。

最後にたかひとへ。歯はごめんね。

ホストファミリー

東大和市 保護者 稲毛 秀憲



尚斗と尊仁の元気な2人が我が家にホームステイに来てくれました。私自身、初めての経験で多少の不安がありましたが、子どもたちがあっという間に仲良くなる姿をみて安心することができました。最初は気を使っている様子の2人でしたが、ストロングスのメンバーたちともすぐに仲良くなってくれました。おかげで、ストロングスの5年生全員と一緒に泊ってくれた2日目の夜は子供が7人に増えて、ほんの少しビックダディを味わうことができたように感じます。

二人には少しでも楽しい思い出を作って帰ってほしいと思っていましたが、私自身が一番楽しんでいのように思います。このような貴重な体験をさせていただきましたこと、中里ブルーシャークスの皆様をはじめ、運営関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、来年以降もこの素晴らしい交流事業が続いていくことを願っています。

尚斗、尊仁、楽しい思い出をありがとう。

ホームステイ先：芋窪アトラス 神尾宅

東京交流会

石巻市 3年 成澤 龍哉



1年生の時にはじめて東京に行きました。ホームステイのお家では、みんなとなかよくなれてうれしかったです。3年生になってまた東京にこれてうれしかったです。交流じあいでは、ホームランをうって成長したすがたを見ることができてよかったです。

ボウリングもみんなとながよくやれて楽しかったです。

今年もよんでくれてありがとうございました。またこれたらうれしいです。



東京の交りゅう会

石巻市 3年 大森 敬仁



ぼくら一番楽しかったことはボウリングです。ボウリングではスピアもとれました。ストライクはりゅうやくんが2回とりました。ぼくはストライクはとれませんでした。ジュースのみました。下にはおみせやさんがありました。おみやせさんでごはんを食べました。チンジャオロースを食べました。それにしゅうまいやおみそしるを食べました。おいしかったです。

3日間、ありがとうございました。楽しい思い出ができました。

交流試合

東大和市 4年 神尾 遥星



8月6日から8日まで、3年生の男の子がとまりに来ました。りゅうやとけいとこの二人です。さいしょはきんちょうしたけれど、仲良くなれました。

交流試合は、2日目の朝からやりました。

東大対中里ブルーシャークスの試合をしました。結果は2対4で負けました。

りゅうやがホームランをうってすごかったです。ぼくも、ホームランを打ちたいです。

試合はすぐたのしかったので、またやりたいです。ホストファミリーも ^o^

ホストファミリーをして

東大和市 保護者 神尾 秀人



今回、この話を聞いて、最初は少し戸惑いましたが、息子にとっても良い経験になると思い、思い切って引き受けることにしました。我が家には3年生の成澤君と大森君の二人が来てくれました。顔合わせでは緊張していた子どもたちも、食事会の後では、皆が楽しそうに遊んでいて、帰りの車内でも楽しそうに話をしていました。

2日目は、敵同士でも良いプレーに素直に喜べました。ボウリングでも楽しく遊べ、その後の食事会、帰宅後も皆で楽しい時間を過ごせと思います。今後もこのような機会とタイミングが合えば、又、話を受けて、子どもたちと一緒に成長していきたいと思います